

デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）事業 効果検証シート（令和6年度分）

担当課

建設部下水道課

交付対象事業名	下水道情報システム構築事業												
総合戦略での位置付け	重点戦略 5 DXで暮らしを豊かにする					事業費	計画額（円）	15,840,000					
							実績額（円）	15,400,000					
事業目的・概要	<p>【目的】 公開型下水道情報GISの導入によって、市民がいつでもどこでも下水道情報へアクセスできるようにするとともに、タッチパネル方式による窓口用閲覧システムの導入によって、誰もが簡単に下水道情報に触れることができるようになる。市民や事業者が下水道事業をより身近なものとして感じ、下水道事業に対する理解が促進されることで、将来に渡って持続可能な下水道事業の実現を目指す。</p> <p>【概要】 利用者が下水道台帳や下水道情報を、開開時間に捉われず必要な時に情報収集を行うことができる公開型GISシステムを導入する。 誰でも簡単に操作が可能であるタッチパネル方式による窓口専用GISシステムを導入する。 共有空間データベースの活用によって地図情報等の重複作成を排除し、各部署における情報共有の迅速化を図るため、下水道台帳のデジタル化を行う。</p>												
主な成果	2024年度は、導入年度であるため成果はない。												
重要業績評価指標 (KPI)	指標（単位）			基準値	2024年度	2025年度	2026年度						
	弥富市情報マップ下水道台帳のアクセス件数（件）				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値			
	下水道情報照会対応時間の削減（時間）				300	307	250		200				
	利用者アンケート調査による満足度（%）				0	0	60		70				
事業効果	効果	④実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上に繋がらなかった。											
	理由	2024年度は、導入年度であるため実績値はない。											

〈選択肢〉

- ①実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上に大きく貢献した。
- ②実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上にある程度貢献した。
- ③実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上にわずかに貢献した。
- ④実装したデジタルの活用が地域の課題解決や魅力向上に繋がらなかった。

今後の方針	方針	③事業の継続
	理由	下水道情報システムのPRを継続して行い、当該システムの利用者数向上に努める。また、利用者からの要望によるシステム改修も可能な限り行い、満足度の向上についても努めていく。

〈選択肢〉

- ①追加等さらに発展させる
- ②事業内容の見直し（改善）
- ③事業の継続
- ④事業の中止
- ⑤予定どおり事業終了

外部有識者からの評価	意見	・本事業は、下水道に関する情報を「市民に開く」取り組みであり、行政の透明性と市民サービスの向上を同時に実現し得るものである。 ・市民がシステムの存在を知らなければ利用は広がらないため、広報媒体や窓口での案内を通じて周知を行う必要がある。
------------	----	---